

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	情報産業人材育成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	工業課		包含する細々目	1	7	1	5	10	15	200
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	16	年度～	20	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内事業所従業員	従業員数:人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			11100	11800		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	事業所のネットワーク化やシステム全体の構築、管理を行なうことができる技術を身につける。 企業自らのPRとなるHP作成の技術を身につける。	アカデミー修了者数:人	18目標	3	最終目標	
			18実績		19目標	3
			23目標		23実績	
			18目標	5	最終目標	
		18実績		19目標	5	
		23目標		23実績		
	セキュリティ技術に関する講座修了者数:人	18目標	5	最終目標		
		18実績		19目標	5	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	情報技術の進展に伴い、事業所ではネットワークの新規導入やシステムの再構築に取り組もうとしている。そこで事業所従業員を対象とした「IT・ネットワーク技術講座」を実施し、システム全体の構築・管理を行なうことができるネットワーク技術者やIT技術者を育成する。	IT・ネットワーク技術講座の実施。 ・ネットワーク技術に関する講座 ・セキュリティ技術に関する講座 ・HP作成講座 (講座受講者の追跡調査)	参加した人数	
	18年度の実績			
	19年度計画	IT相談事業 ゆめみらいカレッジと地域産業との接点づくり支援 企業訪問によりIT関連の悩み事相談をおこなう		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	900	200
事業費計(A)	900	200	
人件費	正規職員所要時間	18年度 20	19年度 10
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	72	36
	トータルコストA+B	972	236

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	地域経済自立度(%)	現状値	45.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	製造品出荷額(億円)		現状値	3700	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	4070	

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・企業の情報化が進展する中で、システムの構築・維持、情報セキュリティの保持を要請される時代になり、これに対応できる情報システムエンジニアの養成が今後の企業展開の上で必要となった。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・より高度な情報管理技術が求められている。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・中小零細企業の多い飯田下伊那地域では行政が人材育成の場を提供するよう求める声が多い。</p>
--	---	---

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>高度なセキュリティ技術を身につけることができる。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>より積極的な広報や講座の有効性のPRによる。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由)</p> <p>セキュリティ技術の向上のみにとどまらず、需要に対応した養成講座を実施していくのも良いのではないかと。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>技術者養成の機会の喪失が心配される。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>ネットワーク技術やセキュリティ技術は引き続き習得者を増やしていくのがよい。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>類似事業なし</b> (類似事業名、理由)</p> <p>加工等技術や経営等の講習は「飯田産業技術大学」等で実施されるが、企業PRに向けた先進的ITを活用研修は必要であり他に類似事業がない。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>中小零細企業の多い飯田下伊那地域では行政が人材育成の場を提供するよう求める声が多い。</p>		<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>講座実施委託先の経費による。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>直接の受益者は受講者であるが、同時に受講者の勤務する市内事業所も受益者となる。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p style="text-align: right;"><b>実施年度</b></p> <p style="text-align: right;"><b>具体化</b></p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>必要な情報技術の企業ニーズを早急に把握し、情報人材の育成を進める効率的な方法へと事業実施事項の改善を行う。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>中小企業が抱える情報技術面での問題点の把握を更に進め、その解決方法や、解決できる場の提供を行い、情報技術を高めることで得られる有益性を理解できるメニューを作り出す。</p>

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	